

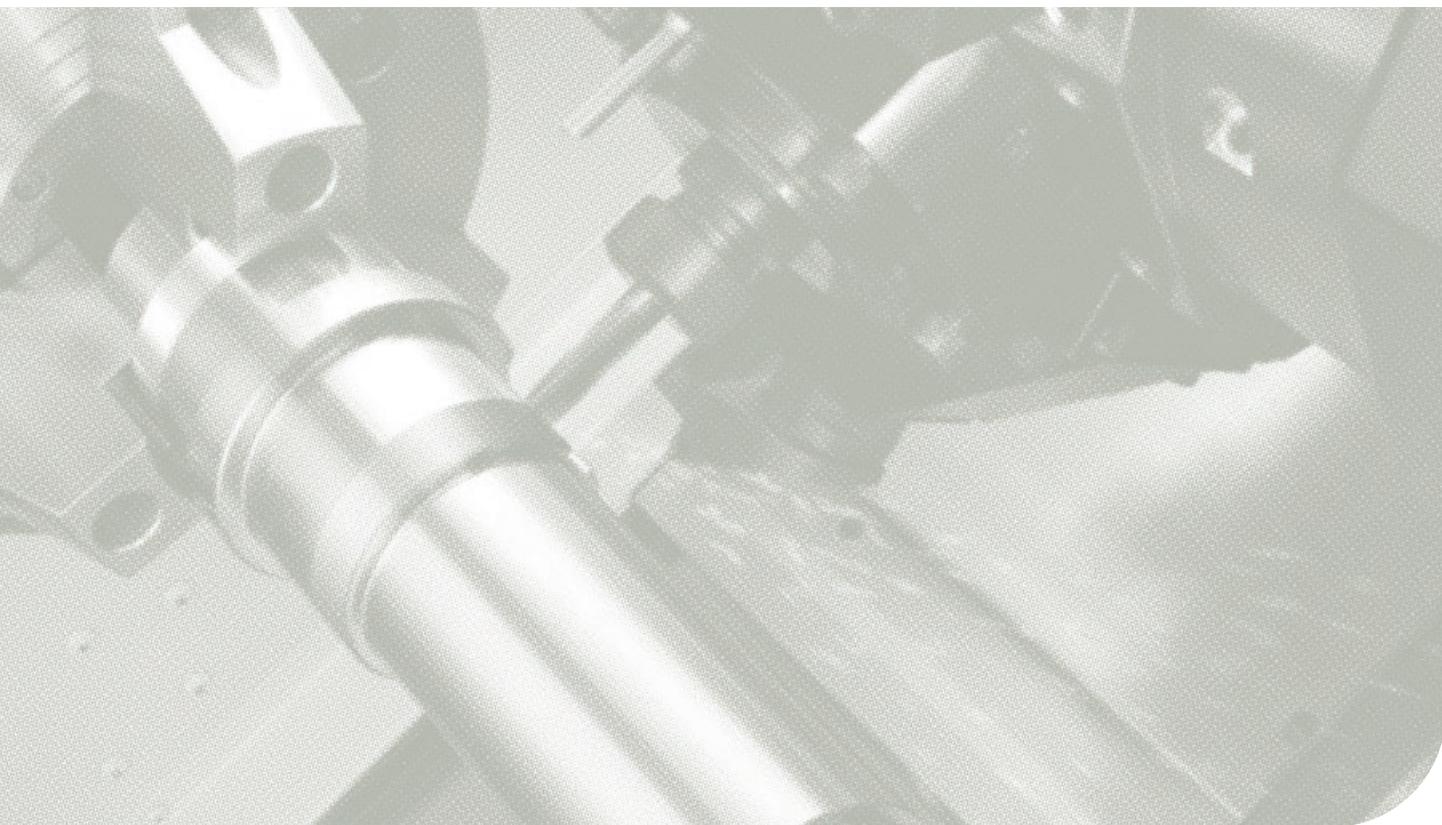
**DMG MORI SEIKI**

COMPANY LIMITED

DMG森精機株式会社

第 66 期 | 株 主 通 信

2013年4月1日●2014年3月31日



**DMG MORI**

証券コード：6141

# 変革と融合、 そしてグローバルワンへ。



工作機械業界で類を見ない、よりイノベーティブな製品を提供し続けるため、  
森精機製作所とギルデマイスターの両社は協業関係をさらに強化し、  
2013年10月1日には両社の社名を「DMG森精機(DMG MORI SEIKI)」に統一しました。  
伝統によって築かれた精度や技術を充実させ、世界中のお客様により信頼されるパートナーを目指します。

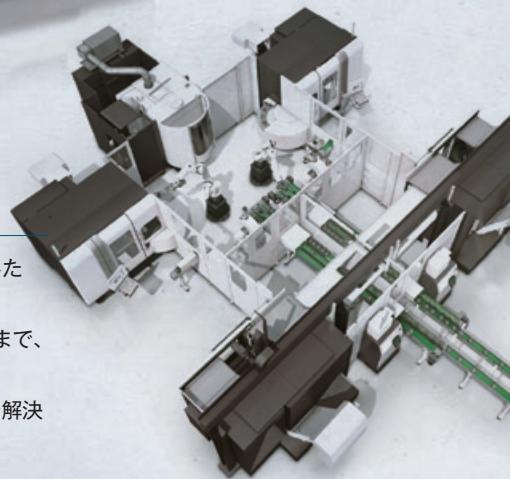
# Products

- 世界最大の製品ラインアップ
- 革新的な製品を生み出す充実の開発体制
- 最新鋭の設備と、徹底した品質管理で  
高効率な製造体制を構築
- 品質維持や納期短縮のために、  
重要基幹部品を内製



# Solution

- 世界の主要拠点に高い専門能力を有した  
エンジニアリング部門を配置
- 優れた周辺機器の提案から納入・保守まで、  
トータルにサポート
- あらゆる加工に対するお客様の課題を解決
- 機械加工のプロフェッショナルが、  
お客様のもとへ出向



製品

ソリューション

サービス&パーツ

# Service & Parts

- 世界各地のテクニカルセンタより、身近できめ細かなサービスを提供
- 世界各地に大規模なパーツ拠点を配置
- 常時稼働のサービスセンタで、問題点をスピーディに解決
- 多彩な講義と実習で、機械やソフトウェアのオペレーティングをサポート



## お客様にとって一番の 工作機械メーカーであること。 それが私たちの グローバルワンです。

切削型工作機械の総合メーカーとして、DMG森精機は常にものづくりの原点を支えてきました。その歩みは、常に変革と挑戦の歴史でもありました。そして今、私たちが目指していること。それは、お客様にとって一番の工作機械メーカーになることです。最高の技術とサービスを絶えず追求し、工作機械の新しい価値を、無限の可能性を、世界中のお客様へお届けしてまいります。



取締役社長  
工学博士 森 雅彦

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。ここに第66期（2013年4月1日から2014年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

### ■ 事業の経過及び成果

当期の工作機械業界における引合・受注環境は、上半期には日本・中国・アジアが低調に推移したものの、下半期には内需、外需ともに復調し、日本工作機械工業会が発表した2014年3月期の工作機械受注実績は前期比で5.7%増となるなど、確実に回復しております。当社グループにおいては、期を通じて需要が好調であった米州に加え、日本・欧州・中国での

需要の回復を受け、受注は堅調に推移しました。当社は2014年3月に海外募集による新株式発行及び自己株式の処分により305億円の資本増強を実施いたしました。グローバルな市場で攻めの姿勢に転じることを目的とし、今回増資した資金を国内外の設備拡充やお客様向け実験センターの設立及び展示機の充実などに活用いたします。こうした中、当社の売上高は160,728百万円（対前期比8.2%増）、営業利益は9,357百万円（対前期比126.3%増）、当期純利益は9,442百万円（対前期比82.6%増）の増収増益となりました。

### ■ 当期の取り組みと課題

開発面では、高精度・高品質・高信頼性を追求した「X class」が受注構成比で50%を超え、確実にお客様の要望・信頼にお応えできる基幹

機種に成長してまいりました。またDMG MORI SEIKI AGとの提携により5軸加工機やレーザ加工機等も製品ラインアップとして拡充し、新しいお客様の獲得を目指してまいりました。さらに、DMG MORI SEIKI AGとの共同開発の面では、オペレーターの操作性を最優先に考えて設計された新オペレーティングシステム「CELOS (セロス)」をはじめ、新デザインコンセプト機を発表し、好評をいただいております。今後、新機種の共同開発を進め、両社で合わせもつ既存の機種を順次統合してまいります。

生産面では、日本・米州・欧州・アジアの四極体制でのグローバル生産を進めてきました。2013年10月に稼働した中国の天津工場も生産の立ち上げが順調に進み、当社の国内工場への鋳造部品の供給拠点としても稼働しています。さらに、両社の工場での相互生産を行うための技術・品質基準の共有化も着実に進めております。2014年中には、当社の千葉事業所と北米工場で、DMG MORI SEIKI AG設計機種である5軸加工機「DMU 50」の生産を開始する予定です。

また、7月にグランドオープンする予定の東京グローバルヘッドクォータの開設準備が順調に進んでおります。全世界のセールス・サービスを統括

する機能のほか、1階に併設されるお客様向け実験センターでは常時約30台の最新鋭の工作機械を展示し、お客様に最適なソリューションのご提案やデモ加工を行います。DMG MORI SEIKI AGが開設を進めるスイスのグローバルヘッドクォータと合わせ、全世界のお客様をサポートしてまいります。

## ■ 配当について

第66期の期末配当につきましては、当社の業績と経済情勢を勘案し、1株あたり12円を6月23日からお支払いすることといたします。(中間配当と合わせ、通期では22円となります)。利益配分につきましては、将来の事業計画、業績、財務状況、新製品や新技術を中心とした開発投資及び設備投資の充実などを総合的に考慮し、安定的かつ継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月

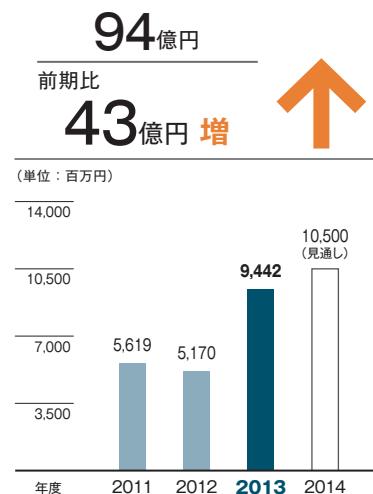
### ■ 連結売上高



### ■ 連結営業利益



### ■ 連結当期純利益



# 豊かな暮らしを支える工作機械

私たちの生活は衣食住に加えて、移動する、通信する、健康に暮らすなどの行動で成り立っています。そしてその全ての人間活動に工作機械は欠かせません。一見関係ないように思える身近な日用品も、実はもとをたどれば工作機械が関わっています。



横形マシニングセンタ  
NHX 4000



5軸マシニングセンタ  
DMU 80 eVo linear



ブリスク



航空・宇宙・船舶



シリンダブロック



自動車・バイク



建機部品



建機



ハウジング(真空ポンプ)



電機・通信・半導体



コア



織機・繊維機械



ギヤシャフト



農業機械



人工骨



医療



## グローバルヘッドクォーター

全世界のセールス&サービスを統括します。



1 東京 (日本)



2 Winterthur (スイス)

## ナショナルヘッドクォーター

DMG森精機とDMG MORI SEIKIの本社として機能します。



3 名古屋 (日本)



4 Bielefeld (ドイツ)

## マニュファクチャリングヘッドクォーター

全世界の生産・製造を統括する工場です。



5 伊賀 (日本)

## 生産拠点 (国内)



6 奈良 (日本)



7 千葉 (日本)

## 生産拠点 (海外・グループ会社)



8 Davis (アメリカ)



9 Tianjin (中国)



10 太陽工機 (新潟)



11 マグネスケール (神奈川)



12 Pfronten (ドイツ)



13 Seebach (ドイツ)



14 Idar-Oberstein (ドイツ)



15 Pleszew (ポーランド)



16 Tortona (イタリア)



17 Bergamo (イタリア)



18 Shanghai (中国)



19 Ulyanovsk (ロシア)



20 Dixi machines, Le Locle (スイス)



21 Tobler, Louvres (フランス)

2013年10月

## 株式会社森精機製作所から DMG森精機株式会社へ

### One brand for the world のもとに社名を統一

2013年10月1日をもちまして、株式会社森精機製作所は、「DMG森精機株式会社」(DMG MORI SEIKI CO., LTD.)に社名を変更しました。また提携先の「GILDEMEISTER AKTIENGESELLSCHAFT」も「DMG MORI SEIKI AKTIENGESELLSCHAFT」に社名を変更し、「One brand for the world」のもとに両社の社名を統一しました。工作機械業界では類を見ない、よりイノベティブな製品をご提供するため、両社は協業関係をさらに強化し、世界中のお客様により信頼されるパートナーになりたいと考えています。



2013年9月



## 新デザインコンセプト機 & 新オペレーティングシステム “CELOS”をEMO Hannover 2013にて世界初公開

### デザインと使いやすさを追求した新デザイン

EMO Hannover 2013で、新デザインコンセプト機と新オペレーティングシステム“CELOS”を公開しました。新デザインコンセプト機は、オペレーターの操作性を最優先に考えて設計されました。窓のサイズを大きくして視認性を向上させたほか、外観も綺麗な状態で使い続けていただくためにカバーの耐久性と安全性も向上させています。“CELOS”はDMG MORI SEIKIが共同で開発した新オペレーティングシステムです。ディスプレイにはワイドな21.5インチと15.6インチのタッチパネルを採用しています。機械の操作状況に応じてボタン表示の切り替えが可能など、直感的な操作を提供し、従来タイプの操作パネルよりも操作性を格段に向上させました。

2013年10月

## 天津工場グランドオープン

### 世界四極体制でロジスティクスコストの低減

2013年10月18日天津工場がグランドオープンしました。最新の設備を導入した工場では、横形マシニングセンタを中心に生産を行うほか、鋳物の製造拠点として日本や北米工場へパーツを供給します。また、欧州・北米・日本・中国というDMG MORIで展開している世界四極体制を強化する狙いもあります。この世界四極体制でロジスティクスコストの低減と納期短縮を図り、お客様によりよい製品とサービスをご提供してまいります。



#### 天津工場の概要

所在地： 中華人民共和国天津市  
敷地面積： 約 90,000 m<sup>2</sup>  
生産品目： NHC4000、NHC5000、鋳物の加工  
生産能力： 100台/月  
従業員： 200名

## お客様をサポートする拠点として DMG MORI のグローバルヘッドクォータが始動

04

DMG MORIの日本でのグローバルヘッドクォータを東京 潮見に開設します。1階に東京ソリューションセンタを併設し、常時25台~30台の最新の工作機械を展示します。ショールームとしての機能だけでなく、新しい加工技術をお客様と共同研究する場を設けたり、お客様に最先端の加工技術を習得していただく5軸加工スクールを開講し、国内のみならずアジアを中心とした海外のお客様をサポートする拠点となります。また、DMG MORI SEIKI AGとの協業や販売を推進する部門を設置し、スイス ウィンタートゥールにもヨーロッパにおけるグローバルヘッドクォータの開設を予定しています。



東京グローバルヘッドクォータ

所在地：東京都江東区潮見  
敷地面積：約3,570 m<sup>2</sup>  
操業開始：2014年7月



Winterthur(スイス)

## 切削と金属積層技術を融合した ハイブリッド機の開発

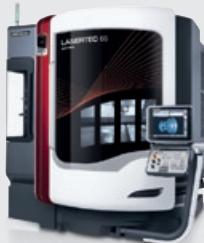
05

### ■ アディティブ・マニファクチャリング

従来の切削加工と、3次元データから金属粉末を積層形成するアディティブ・マニファクチャリング機能を組み合わせたハイブリッド機を開発しました。拡大を続けるアディティブ・マニファクチャリング市場において、DMG MORI SEIKI AGの一員であるSAUER社が世界に先駆けて最新のレーザ加工機LASERTEC 65とアディティブ・マニファクチャリングを融合しました。この革新的なハイブリッドソリューションは、他に類を見ない独自性の高い技術です。



レーザクラッディング



## ポルシェチームと パートナーシップを締結

06

### ■ 高精度の機械と最高のエンジニアを提供

ポルシェがル・マン24時間レースを含むFIA世界耐久選手権LMP1クラスに復帰することになり、DMG MORIとして高精度の機械と最高のエンジニアを提供することで、ポルシェのトップクラスへの復帰をプレミアムパートナーとしてサポートします。レースに出場する「ポルシェ919ハイブリッド」のボディ正面、フィン、側面、フロントライト下部、またユニフォームに「DMG MORI」のロゴが表示されます。DMG MORIとポルシェチームは、これからも強力で信頼できるパートナー関係を築いていきます。



## 連結財務諸表(要旨)

### ■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

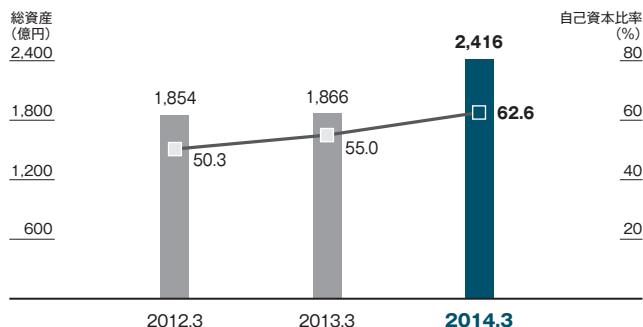
科目	前期	当期
	2013年3月31日現在	2014年3月31日現在
流動資産	74,739	99,353
固定資産	111,914	142,317
有形固定資産	62,788	69,009
無形固定資産	5,912	6,112
投資その他の資産	43,213	67,194
資産合計	186,653	241,670
流動負債	44,253	41,454
固定負債	37,918	44,714
純資産合計	104,481	155,501
負債・純資産合計	186,653	241,670

### ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	自 2012年4月 1 日 至 2013年3月31日	自 2013年4月 1 日 至 2014年3月31日
売上高	148,559	160,728
売上原価	104,393	107,469
売上総利益	44,165	53,259
販売費及び一般管理費	40,031	43,902
営業利益	4,134	9,357
営業外収益	2,052	3,081
営業外費用	1,180	1,192
経常利益	5,005	11,245
特別利益	887	4,723
特別損失	256	4,593
税金等調整前当期純利益	5,637	11,376
当期純利益	5,170	9,442

### ■ 総資産／自己資本比率



詳細情報は

<http://www.dmgmoriseiki.co.jp/ir>

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	自 2012年4月 1 日 至 2013年3月31日	自 2013年4月 1 日 至 2014年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,421	5,906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,089	△ 17,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,085	23,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	488	330
現金及び現金同等物の増加額	1,735	12,624
現金及び現金同等物の期首残高	4,532	6,268
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 1
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	25
現金及び現金同等物の期末残高	6,268	18,916

# 会社データ

## ■ 会社の概要

2014年3月31日時点

会社名	DMG森精機株式会社(DMG MORI SEIKI CO., LTD.) ※2013年10月1日付で社名を変更しました
資本金	51,115百万円
設立	1948年10月
本店(登記上)	奈良県大和郡山市北郡山町106番地
名古屋本社	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16 TEL:052-587-1811(代)
主な事業内容	工作機械(マシニングセンタ、数値制御装置付旋盤及びその他の製品)の製造、販売、サービス
従業員	2,684名(個別) / 4,159名(連結)
ホームページ	http://www.dmgmorseiki.co.jp

## ■ 役員

2014年6月20日時点

取締役社長	※ 森 雅彦
取締役副社長	※ 近 藤 達 生
取締役副社長	※ 玉 井 宏 明
専務取締役	高 山 直 士
取締役	大 石 賢 司
常勤監査役	佐 藤 壽 雄
監査役	加 藤 由 人
監査役	栗 山 道 義

(注) 1. ※印は、代表取締役を示しています。  
2. 監査役の加藤由人、栗山道義の両氏は、社外監査役です。

## ■ 株式の状況

2014年3月31日時点

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	132,837,471株(自己株式106,212株を除く)
単元株式数	100株
期末株主数	36,504名

### 大株主

2014年3月31日時点

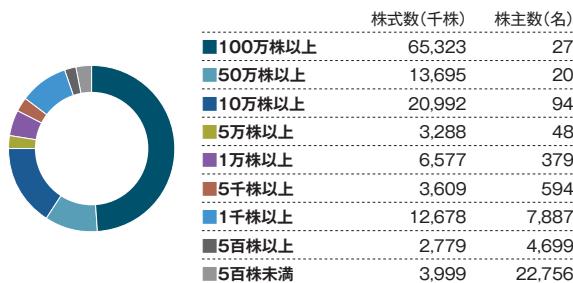
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ディーエムジー モリセイキ アーゲー (常任代理人 クレディ・スイス証券株式会社)	12,797	9.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,249	3.95
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT - TREATY RATE (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	4,505	3.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,142	3.12
森 雅彦	3,540	2.67
ザバンク オブ ニューヨーク 133522 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	2,962	2.23
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	2,733	2.06
森 智恵子	2,287	1.72
チェースマンハッタンバンク ジーティーエス クライアンツ アカウント エスクロウ (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	2,185	1.65
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505017 (常任代理人 香港上海銀行東京支店カスタディ業務部)	2,129	1.60

(注) 1. 当社は、自己株式(106,212株)を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別分布状況



### 所有株式数別分布状況



## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-782-031 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話:0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.dmgmoriseiki.co.jp">http://www.dmgmoriseiki.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

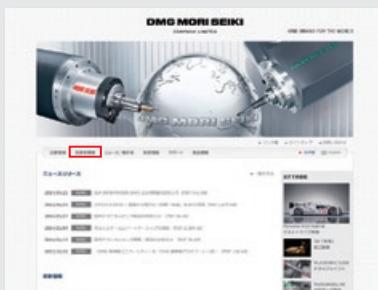
(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。

製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等をご覧いただけます。



TOPページ



IRページ

<http://www.dmgmoriseiki.co.jp>

